

11/12 羽田実力斗争をふまえ

11.20 全国反戦、11.21 総評、12.4 国際反戦

統一行動を戦斗的に斗いぬけ！ 70年安保粉砕へ前進せよ！

67.11.14

共産主義者同盟関西地方委員会
社会主義学生同盟関西地方委員会

連絡先 大阪市福島区鷺洲上三〇三
土寅ビル内 戦旗社
(大阪)四五八一〇二三五

11月12日佐藤訪米に反対する闘争は
全学連四〇〇〇名の果敢な闘争を先頭
に広範な労働者、市民を含んで展開さ
れた。

全学連は、10・8の羽田闘争以来、
官憲の弾圧を集中的にあび、更に内部
から共産党・民青の「トロッキスト」
攻撃をあびてきた。にもかかわらず、
10/13、10/21闘争を戦いとり、この
12日の戦いには地方から一〇〇〇名以
上の上京団を加えて、10・8をうま
わる四〇〇〇名の学生が参加し、七〇
〇〇名に及ぶ官憲の弾圧の中で断固た
る実力闘争を展開したのである。しか
も、その戦いは、10・8に較べて一層
組織的に展開された。

この全学連の戦いにケン引されて、
反戦青年委員会、特に地区反戦を中
心として地方からの動員をふくめて四
〇〇〇名の闘争を展開し、学生の孤立
した闘争ではなく、労働者階級の運動
と結合する傾向をはっきりと示したの
であった。

更に、日中友好協会正統本部や、総
評・社会党も羽田空港へ抗議行動を行
った。更に、沖縄祖国復帰協も戦いを
展開した。

一方、自民党・政府・官憲は、近県
から自民党青年部一五〇〇名を動員し
つつ、他方で七〇〇〇名の官憲を集中
して、一步も羽田へ近づけない戦術を
とったのであった。

11/12 闘争の意義 — 組織された実力闘争

12日の闘争は、その客観的情勢にお
よしても、主体的な戦いからしても、秋
の一連の外交路線に対する闘争の総決
算であり、又、同時に新たな出発点で
もあった。

第一に、佐藤訪米は、この秋の一連
の佐藤の東南アジア訪問のしめくくり
であった。

すでに、韓国や台湾を訪問し、更に、
東南アジア諸国から太平洋諸国を訪問し
経済的援助(非進出)を約束し、三木
外相の「アジア太平洋経済圏」構想
の具体化をはかりつつ、更に南ベトナム
訪問によって、政治的にも、ベトナム
参戦国への道をふみだしたのであつた。
訪米は、以上の歴訪の結果に立っ
て、米帝国主義との協調のもとに、日
本帝国主義の新たな外交路線を確定す
るものに他ならない。従って、この12
日の闘争は、まさに10/8闘争以後の
全過程を集約する闘争だったのである。

第二に、その主体的な闘争において
も、10/8闘争が切り開いた新しい局
面を引きつぎ、その実力闘争を、学生
内部にも拡大し、更に、労働者階級の
戦いと押しひろげてゆくか、それと
も、官憲の弾圧に屈したり、運動内部
の日和見主義的潮流に屈するか——こ
の2つの潮流の集約点でもあった。

そして、この点では11/12闘争が、
10/8闘争をうまわって戦われた事
は、その結果を示している。

日本共産党は、わずかばかりの代表
を羽田に送ったのと、民青全学連の一
〇〇〇名ばかりが抗議闘争を行ったた
けであり、尚、犯罪的にも西京極でス
ポーツ祭典をやっていたのである。

11/20 全国反戦 — 11/21 秋闘第二波、12/4 国際 反戦行動を準備せよ

11/12の戦いに対して、官憲は数百
名の学生を逮捕し、更に、組織的弾圧
を加えてきている。我々は、まず、こ
の弾圧に対する抗議に直ちに起上らね
ばならない。職場、学園で、11/12

真相報告、弾圧抗議集会を成功させよ

佐藤訪米以降、佐藤は内閣改造を行
い、ベトナム侵略への加担の強化、軍
事力増強、砂川・成田基地拡張、そし
て、エンタプライズ寄港と攻勢を強め
てくるであろう。

そして、何よりも、佐藤・ジョンソ
ン会談を通じて、70年安保が急速に具
体化してくるであろう。(例えば、安
保第6条・極東の範囲、事前協議制)
我々は、11/12闘争の成果の上に、
戦いを一層強化し、訪米後の一段飛躍
する佐藤政府の攻撃に立向ってゆかね
ばならない。

△われわれの 四つの基本的主張△

- 一、既存の全社会組織を暴力的に
転覆し、世界革命を実現せよ
- 二、日本革命の道は暴力革命であ
る
- 三、全人民の武装、議会制度の
廃止
- 四、私有財産制の廃止

△当面のスローガン△

- (一) 佐藤内閣を打倒し七十年安保を粉
砕せよ
- (二) 原潜、原空母入港阻止、砂川、
成田、新島基地斗争を斗え
- (三) ベトナム侵略阻止、兵器、物資の
生産、輸送拒否
- (四) 米軍政打倒、沖縄軍事基地撤廃
- (五) 講和条約第三條破壊
- (六) 防衛庁の省昇格阻止
- (七) 国会周辺デモ規制粉砕、都条例、
公安条例破壊
- (八) 小選挙区制粉砕
- (九) 大管法阻止
- (十) 一切の暴虐と弾圧をのりこえ、
階級斗争を前進せしめよ